

3類型	農林水産物	通巻番号	3-26-230
地域資源名	群馬の牛肉・群馬の豚肉	認定日	平成26年10月15日
地域	群馬県高崎市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：群馬の牛肉・豚肉と老舗弁当屋の技術を融合した惣菜の 開発・販売事業

会社名：高崎弁当株式会社

所在地：群馬県高崎市倉賀野町41番地

連絡先：TEL:027-346-2571
FAX:027-346-8566

HP：<http://www.takaben.co.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

・群馬の牛肉と豚肉は共に飼養頭数は全国上位であるが県内消費者の消費量が少ないことが課題である。また、生産者にとっては飼料価格の上昇による利益率の低下や事業者の高齢化など課題を抱えており、消費者ニーズに応じた畜産物の生産と消費拡大が課題となっている。

・当社が開発する新たな惣菜商品に未利用部位も活用した群馬の牛肉・豚肉、さらに地域産野菜を活用することで、地域性を打ち出した商品開発により、地域ブランド化への貢献、地域酪農産業、養豚業への貢献等の当地域内での相乗効果が発揮されると考え事業化を目指すに至った。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・当社の創業以来の伝統の品である「鶏そぼろ」の製造技術、ノウハウを活用し、群馬県の地域資源である、牛、豚を主に、こんにゃく、県内産野菜を活用した「おぼろ商品」を開発し、新たな特産品として県内外の消費者へ訴求する。

◆市場性

昨今はご当地食、地域で生産された食材を用いた郷土料理や調味料にこだわった地元で好まれる味付けが人気を博している。

・国内産の素材と伝統の味付けにより親しみやすさを訴求する。

◆販路

・自社運営店舗を中心に販売し、地域内外の産品セレクトショップ等へ販路開拓を図るとともに、業務利用としても地域内外の外出産業、産業給食へも展開する。



【既存商品】
(鶏めし弁当)



【試作開発品】
(牛肉とこんにゃくのおぼろ)



【試作開発品】
(豚肉とこんにゃくのおぼろ)

地域資源における関係事業者との連携

地域の精肉や野菜等の取引業者等と連携し原料の有効活用を目指した商品開発を行う。また、一般社団法人高崎観光協会や地域支援機関等と連携して、祭りや地域イベント企画と絡めて、地域飲食店や食品製造事業者と連携したプロモーション展開を図り、地域一体の活性化に繋げる。